

外国人介護人材 雇用注意点学ぶ

県が宮崎市でセミナー

県は20日、介護現場の外国人採用に関する不安を解消しようと、「外国人介護人材受入セミナー」を宮崎市の宮崎グリーンホテルで開いた。県内の介護サービス事業者約60人（オンライン含む）が参加し、雇用の



実際の注意点などを学んだ。写真。

日本の介護現場での勤務を希望する外国人を対象に、日本語教育などを実施する東京都の「ONODERA USER RUN」の土井亮一 上席執行役員は、社会保険を巡ってトラブルになるケースがあるこ

とを紹介。「雇用条件を繰り返し伝えてほしい」と助言した。

従業員の約36%を外国人が占める都城市の「大淀福祉会」の大峯伸一 事業統括部長は、勤務記録を提出してもらい、文章の書き方や介護の方法をアドバイスしている取り組みを報告。目標を共有しながら、サポートしていくことが重要」と述べた。（山田健太）